

# 終末期における『意味のある活動』をどう支えるか —原点に立ち返り、改めて考える—

## 開催概要

**6月19日(金) 19:00–20:00**

福岡国際会議場 2階 多目的ホール (第3会場) にて開催されます。

原点に立ち返り、専門職として支援の視点を  
皆様と共に再考します。

**皆様のご参加を心よりお待ちしております！**

## 4つの専門的アプローチ

### 身体機能とADLの知見

患者の身体機能面およびADL（日常生活動作）の視点から支援を検討します。



**藏合 勇斗 氏**  
横浜市立みなと赤十字病院  
PT

### 意思表示困難な患者への活動支援

コミュニケーションが難しい患者に対する活動のあり方を模索します。



**池知 良昭 氏**  
香川県立丸亀病院  
OT

### 作業療法的視点による再考

専門的な作業療法の視点から、患者にとっての「意味」を深掘りします。



**田尻 寿子 氏**  
静岡県立静岡がんセンター  
OT

### 患者のADLに関する知見

患者のADL（日常生活動作）における具体的な支援のあり方について提示します。



**添田 遼 氏**  
慶應義塾大学病院  
ニューロモデュレーションセンター  
PT

